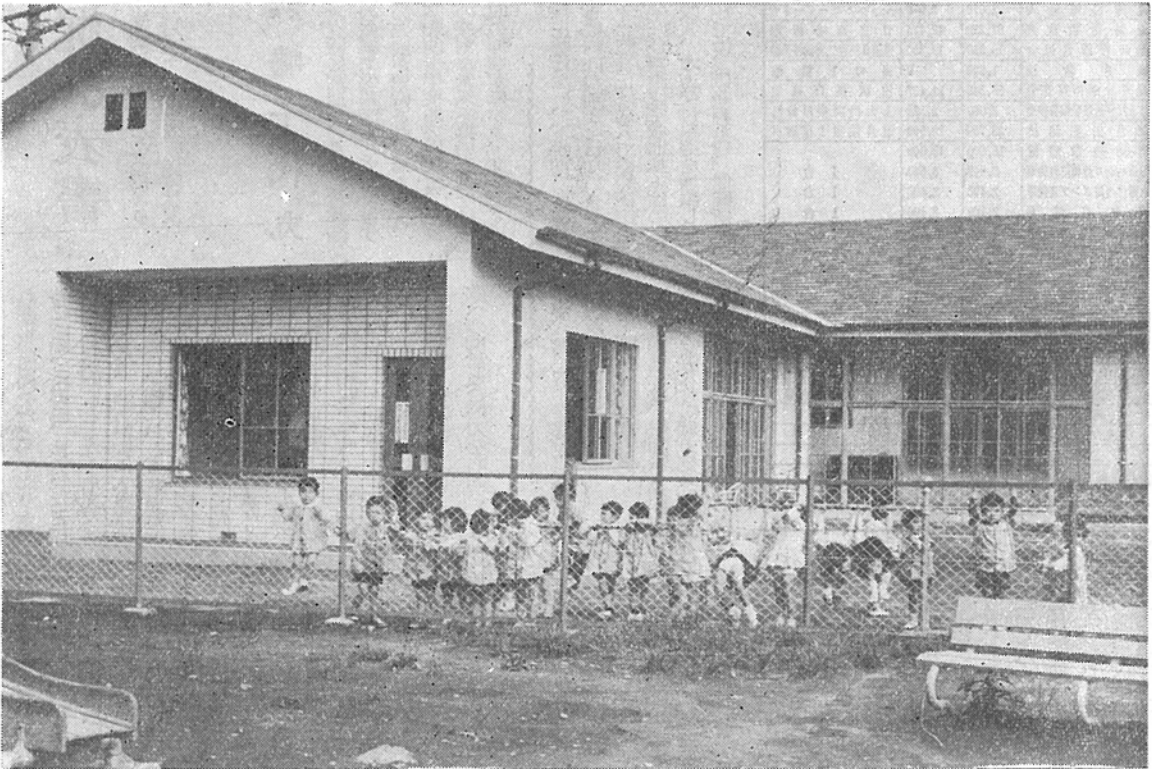


(人のうごき)
 (41. 5月末現在)
 人口 114,064
 世帯 29,259
 前月に比べ
 830人 232世帯の増

広報 かしわ

発行所
 柏市役所
 柏市柏206番地
 電話柏(07)1111代表
 編集 秘書課広報係



光ヶ丘保育園 (昭和40年度建設)

財政公表特集

元気に育つ
 団地のよい子

昭和四十年年度の建設事業の一つとして、光ヶ丘保育園が建設されました。今まで市立保育園は四ヶ所ありましたが、才五番目の保育園として誕生したのが、この光ヶ丘保育園です。

ここでは、八十人の「才から五才までの乳幼児を保育していますが、その八割は光ヶ丘団地に住む子供達です。子供達はみんな素直で明るく、毎日黄色いカバンを肩に元気に飛び廻っております。

保育園は、児童福祉法にもとづき、家庭で保育に欠ける子供達をお母さんに代って保育する機関です。このため幼稚園とは違って、保育時間は一日八時間と定められており(幼稚園は三時間)、社会、言語、自然、健康、音楽、絵画など、六つの保育目標にわたって、ご飯を一人ずつたべられるしつけ、排便、お友達と仲よく遊ぶ、観察の習慣、リズムと生活など色々な教具、教材を使い保育されています。

この光ヶ丘保育園は、こうした子ども達の保育目標に沿って設計されていますが、特色としては、給食施設を持ち、乳児給食をしていること、各保育室内に水洗便所があり、排便のしつけが出来ること、乳児用の浴室があることなどがあげられます。

二十才代から三十才代の若い育児に熱心なお母さんたちと、ベテランの保母さん、恵まれた施設で団地の二世帯にはすくすくと育っています。

柏市告示第133号

柏市財政状況公表書

柏市財政状況の作成及び公表に関する条例の定めるところにより、昭和四十年十月一日から昭和四十一年三月三十一日までの財政状況を公表いたします。

昭和四十一年六月一日

柏市長

浜嶋千代丸

昭和四十年度下半期の財政状況をお知らせするにあたり、市民各位の市政に対する協力を対し心からお礼申しあげます。

当市は、昨年十月の国勢調査で人口は十萬九千二百七十七人と県

一般会計

収入及び支出の概要

当初予算は十一億二千六百五十九万円でしたが、九月までに一回

の補正を行ない、下半期には次のように四回の補正を行ないました

才三回補正は、財団法人柏市開発協会の借入れに対する損失補償の債務負担行為を追加しました。

Table with 4 columns: 事業名, 事業費, 支出済額, 事業内容. Lists various municipal activities and their costs.

下才五位に躍進し、さらに首都圏内の産業文化都市としてますますその発展が期待されております。

昭和四十年年度地方財政は、経済界の深刻な景気不振の影響を受け、税収の伸びがなくなり、又一方才出

面において大中な財政需要に追われ悪化の傾向をたどっております。特に酒税、所得税、法人税など国税三税の減収にともなう地方交付税の減少は、地方財政に大きな影響を及ぼし、国においては財政健全化のため昭和四十年年度に交付税不足額について一般会計より補てん、給与改訂財源の特別措置など種々の財政措置を講じ、その建直しに努力しております。

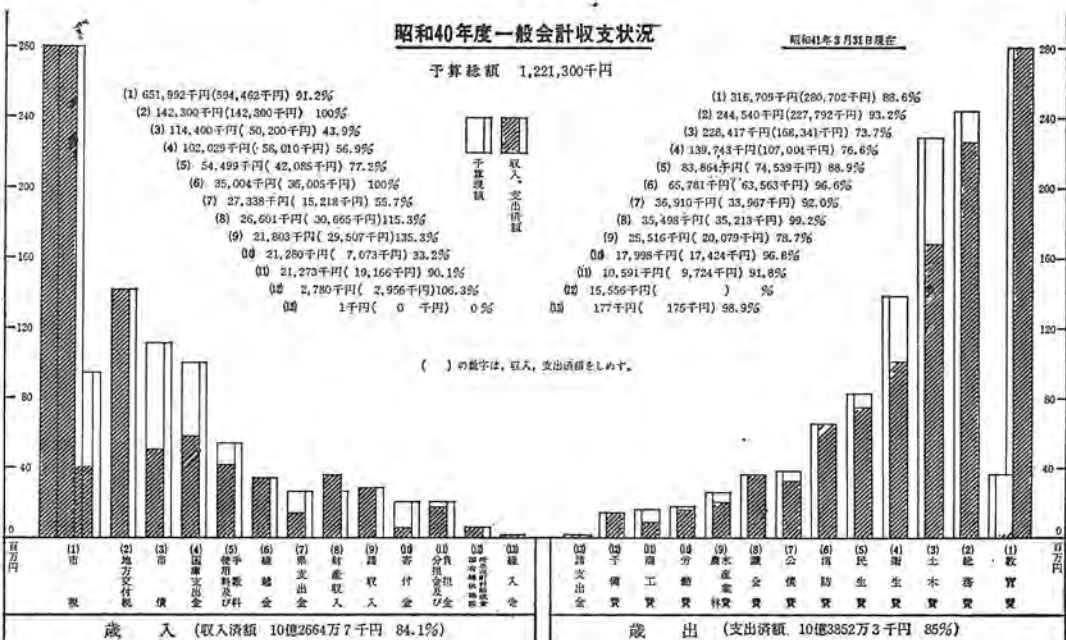
才四回補正は歳入で市税、地方交付税、繰越金等を増額、市債、国庫支出金等の減額を計し、収入を精算し、歳出では人事院勧告による給与改訂をみこみ人員費の精算と道路補修費、校舎建築費、校地購入費等を増額し補助金減による街路事業費を減額して総額で二百八十三万七千円の減額となりました。

を前年同期とくらべますと支出はほぼ同じですが、収入は大巾に上廻っております。費目別の予算執

行状況は、別図のとおりとなりますが歳出のうち、主な投資的経費の三月末支出状況は別表のとおり

昭和40年度一般会計収支状況

予算総額 1,221,300千円



() の数字は、収入、支出済額をいふ。

歳入 (収入済額 10億2664万7千円 84.1%)

歳出 (支出済額 10億3852万3千円 85%)

おもな事業の成果

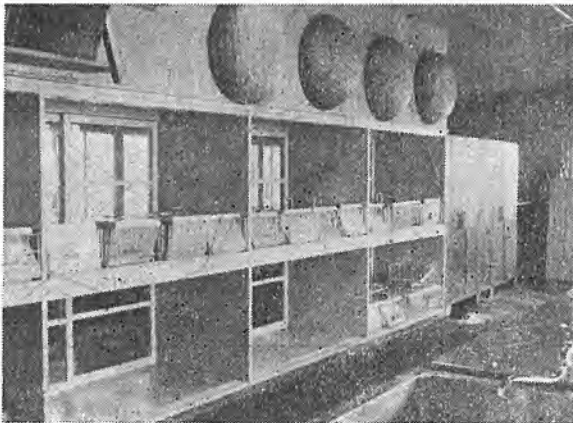
昭和四十年には各種の事業が行なわれましたが、このうち主な投資的経費については、別表にあるように、庁舎の建設、民生衛生施設の整備、道路、都市計画街路など建設事業の促進、ハシゴ車など消防器材の充実、小・中学校の校舎の増改築、給食設備の整備、市民

会館の内部改装と、着々と成果をあげつつあります。
 柏市は、人口十一万と急速に増加し、都市規模も年々増大していきますが、将来の都市形態の基盤づくりは、これからも積極的に進められていきます。明日の街づくりにみんなで起ちあがりましょう

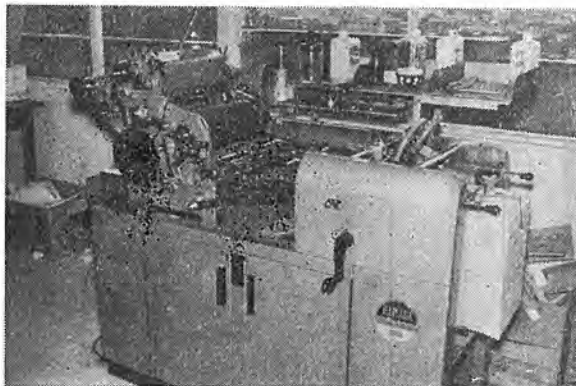


新装なった市庁舎

児童の健康を守る三小給食室



消防活動の新しい威力ハシゴ車



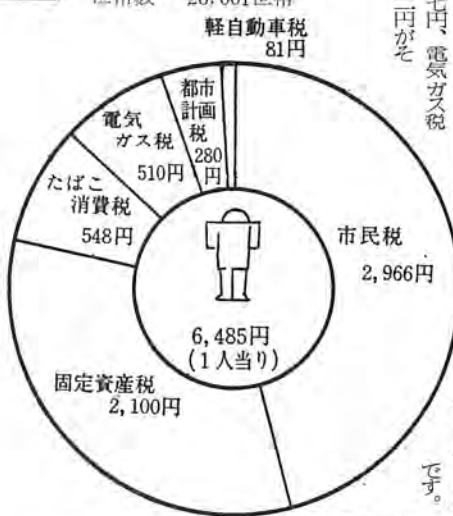
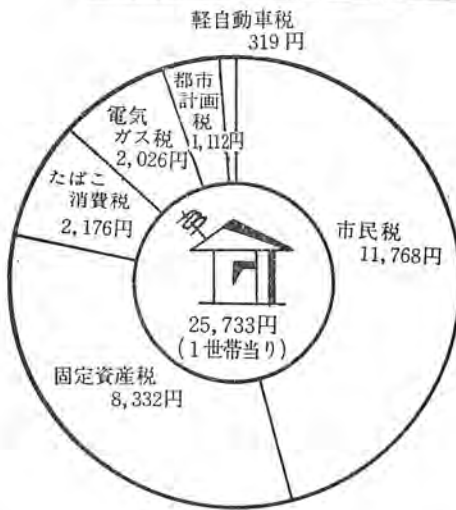
1時間に6,000枚するオフセット印刷機。

環境衛生に活躍するロードパッカー。



昭和40年4月1日現在

人口 103,173人
世帯数 26,001世帯
軽自動車税 81円



昭和四十年年度市税の住民一人当りの負担額は、六千四百八十五円で、税目別にみると市民税二千九百六十六円、固定資産税二千四百、その他の税千四百十九円となっております。この額を前年度と比較すると、市民税七百三十円、固定資産税百三十一円、都市計画税四十七円、電気ガス税二十一円がそれぞれ増加してはいますが、たばこ消費税は二十八円、軽自動車税は二円減少しています。この増加は住民の負担が増えたわけではなく、所得の増加法人の増加などによりふえたもので、これを住民一人当りに平均化した結果が多くなっているものです。

市民の税負担の概要

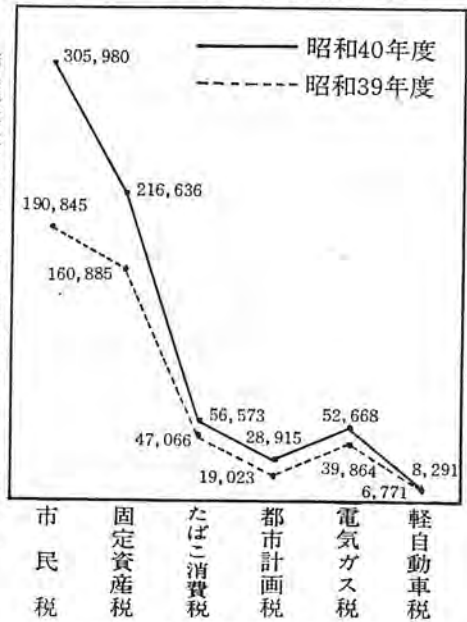
月別	使用料調定額	調定件数
10月	4,754千円	8,913件
11月	4,838	9,044
12月	4,470	9,114
1月	4,908	9,242
2月	4,705	9,291
3月	4,693	9,409

(1) 上水道事業
給水戸数は、三月末現在九千四百九戸で昨年同月より千三百九十八戸増加しております。これは、市のいちぢるしい発展に

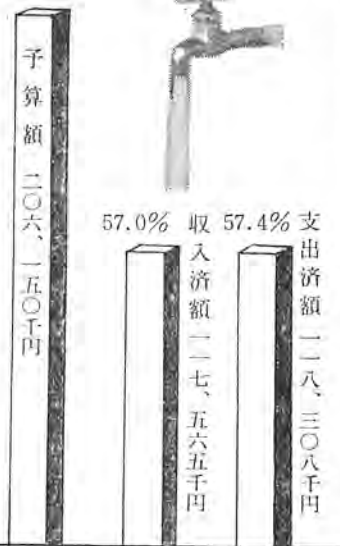
公営事業経理の概要

ともなる給水人口の増加、昭和三十七年度より、五ヶ年継続事業による、南部地区の給水区域の拡大等の理由によるものです。三月末現在の収支状況の調定状況は、次のとおりです。

市税現年度分調定額の比較(四十二年三月三十一日現在)(単位千円)



上水道事業特別会計収支状況



区分	療養給付費	療養費	助産費	葬祭費
10月	8,272	275	167	20
11月	6,764	561	132	34
12月	8,292	309	117	14
1月	6,729	414	150	20
2月	7,046	762	132	36
3月	8,668	412	117	34
計	45,771	2,733	815	158

国民健康保険事業特別会計収支状況

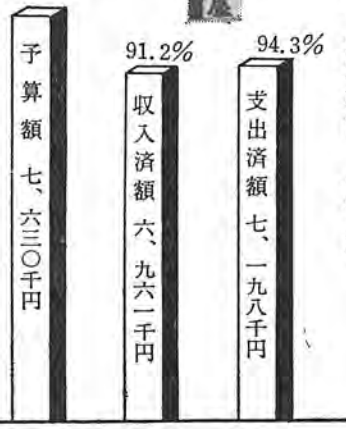


(2) 国民健康保険事業
三月末現在の被保険者数は八千三百六十八世帯三万二千一百一人で前年度に比べて、千三十八世帯二千二百七十三人増加しております。昭和四十一年十月から三月までの給付は、療養給付費及び療養費が四千八百五十四千円で、前年同期より、千二百九十三万二千円増加し、また助産費、葬祭費等の給付は、九十七万三千円で前年同期より一万九千円の減少となっております。三月末の収支状況及び給付の状況は、次のとおりです。

(3) 公益質屋事業

質屋利用者は、上半期平均百四十四件にくらべ、下半期は百三十二件で前年同期の百四十六件にくらべへつております。また貸付在庫高は前年同期の二百八十五万五千円と比較すると、三百十六万五千円と増加しております。

昭和四十年十月から四十一年三月までの貸付回収の状況及び三月末の収支状況は、次のとおりとなっております。



公益質屋事業特別会計収支状況

(5) 柏駅西口土地区画整理事業

昭和三十三年度から昭和四十一年度迄の、九ヶ年継続の柏駅西口土地区画整理事業は、全地区にわたり仮換地の指定を終り、換地計画を作成中で、確定測量は六月末迄の予定で、

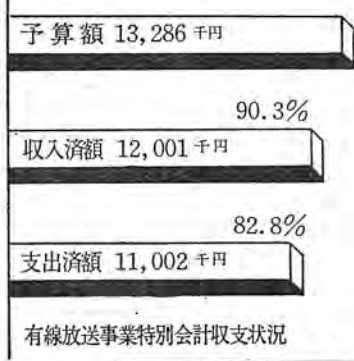
区画街路等築造工事は、ほぼ百分近く終了しました。三月末現在の収支状況は次のとおりです。



区画整理事業特別会計収支状況
柏都市計画 柏駅西口

(4) 有線放送事業

電話加入台数は、3月末現在、2,613台で、前年9月末より9台減少しております。期間中の使用料の調定状況と、3月末現在の収支状況は次のとおりです



有線放送事業特別会計収支状況

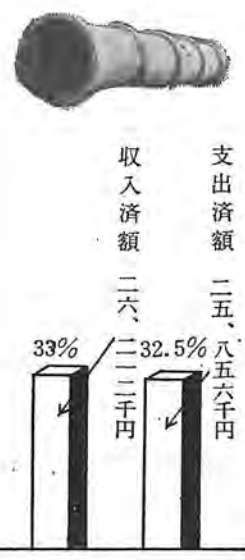
月別	使用料調定額	調定件数
10月	722,720円	2,622件
11月	829,990	2,618
12月	824,845	2,616
1月	838,065	2,615
2月	816,520	2,616
3月	809,445	2,615

公益事業特別会計収入支出状況グラフは、昭和四十一年三月三十一日現在です。

(6) 下水道事業

この事業は昭和三十五年から九ヶ年継続として施工しているもので、昨年柏駅西口の西幹線が完成しました。

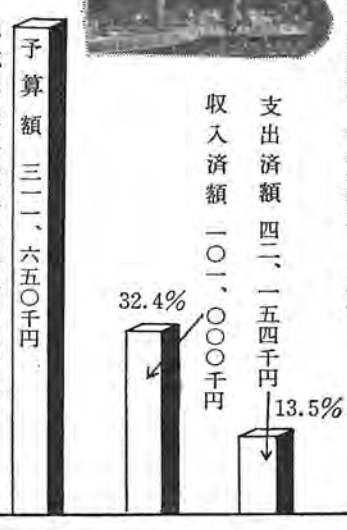
昭和四十年度は、柏駅東口を中心として南西方面(小柳町、三区二丁目、通一丁目、元町、栄町の一)部の幹、支線を施行完成しました。三月末の収支状況は次のとおりです。



下水道事業特別会計収支状況

(7) 地域開発事業

北部地区の地域開発と自主財源の涵養をはかるため、昭和四十年度より三ヶ年継続事業としてすすめている、十余二ヶ団地造成事業は三月末現在で、十二万九千三百六十八平方メートルの買取契約を終り引続き、用地取得交渉をすすめて、当初計画の遂行に努力しております。三月末の収支状況は次のとおりです。



地域開発事業特別会計収支状況



財産、公債及び一時借入金の現在高

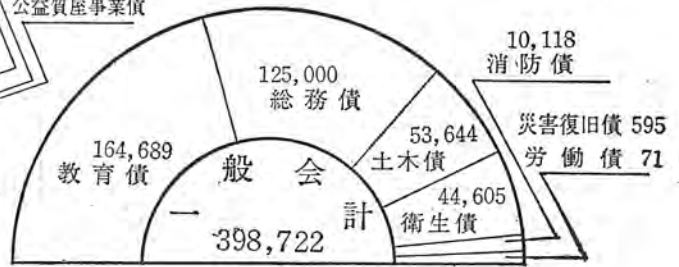
三月末で、市が所有している土地、建物、積立金、有価証券等の財産及び市債(長期借入金)なら

びに、一時借入金の現在高は次のとおりです。

市有財産現在高 (41年3月31日現在)				積立金及び有価証券	
土 地		建 物		区 分	金 額(円)
区 分	面 積(㎡)	区 分	面 積(㎡)	積立金財政調整基金	4,720,750
学校関係用地	240,497	学校関係建物	44,322	国保調整基金	4,062,500
公共施設用地	60,228	公共施設建物	13,705	育英資金貸付基金	629,690
市営住宅敷地	34,219	市 営 住 宅	7,865	学校新設用地金 取得基金	15,000,000
貸 地	12,307	そ の 他	1,807	小 計	24,412,940
そ の 他	5,894			有価証券 電信電話債券	7,280,770
計	353,145	計	67,699	計	31,693,710



市債の現在高 3月31日現在



一時借入金の状況(各月末残高)								(単位千円)
区 分	借 入 先	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利 率
一般会計	郵政省簡易保険局			50,000	50,000	50,000		日歩1銭8厘
	千葉銀行						50,000	日歩2銭1厘
西口区画 整理事業	千葉銀行	120,000	120,000	150,000	150,000	150,000	150,000	日歩2銭1厘 日歩2銭2厘
		計	120,000	120,000	200,000	200,000	200,000	200,000

高野台市営住宅



今後の財政方針

本市は、首都圏の都市として、人口は引続き増加の傾向をたどっており、昭和四十一年度当初においては、前年同期より約九%増加し、十一万二千人余りを数えております。

昭和四十一年度予算編成にあたっては、文化的な住宅産業都市として総合的な発展を図るため、また市民の要望を遂行するための諸事業を計画いたしました。

義務教育施設整備といたしましては、七校に及ぶ小・中学校の増設、鉄筋化、また人口急増対策として第三中の新設、環境衛生施設として、処理場等の用地の購入また、道路の整備等を市政の重点施策として予算化し、また長い間懸案であった市営運動場の新設、団地保育所の設置、南部地区消防出張所の新設等も予算に計上し、そのほか可能な限りの建設的な事業を計上しました。

これ等の財源は、市民各位が負担される市税によることは勿論ですが、その他国庫補助、起債等の国の財源も大きな部分を占めております。

この特定財源の確保が事業遂行上絶対必要で、この増収についてはなお一層の努力を傾注し、あわせて経費削減の節減を図り、所定の事業の遂行を期して参りたいと思います。また、地域開発と将来

の財源を次第に増加させるため昨年度から実施している工業団地の造成、また、本年度を初年度とする都市改進黨業についても財源の確保について特に努力し、市民各位のご協力を得て完成させたいと考えております。

この財政公表にあたり、市民各位のご支援、ご協力を重ねてお願いたします。



完成した下台向中原線



増築された土台向中学校